

## 岩手県東日本大震災津波復興委員会 第30回総合企画専門委員会の審議概要について(報告)

### 1 開催概要

- (1) 日 時 令和4年2月10日(木) 10:00~11:00
- (2) 会 場 サンセール盛岡1階 ダイヤモンド
- (3) 出席者 委員8名(うちリモート参加3名)(別添名簿のとおり)
- (4) 議 事  
復興推進プランの進捗状況について
- (5) その他(情報提供)  
令和4年度一般会計当初予算(案)、東日本大震災津波伝承館の運営状況

### 2 審議結果の概要(主な発言内容)

#### 復興推進プランの進捗状況について

##### [小野寺委員]

- ・ 令和3年度の主な取組を見て、ハード事業の取組が進んでいると感じたが、一方で、安全の確保において、達成度が遅れている事業の内容について確認したい。
- (事務局) コロナの影響2指標(港湾利用促進事業、震災伝承ネットワーク構築事業(三陸TSUNAMI会議開催))、工事遅延1指標(復興関連道路整備事業)について説明。

##### [菅野委員]

- ・ 主要魚種の不漁等へ対策の取組では、「サケの回帰率」を指標としているが、人の力では及ばない面があること、回帰までに複数年かかることから、取組状況を示す指標として「放流数」の進捗も管理していく必要がある。

##### [高嶋委員]

- ・ 県民へのメッセージをどう伝えるかという観点では、復興の現場の状況に応じて柔軟に見直しながら取り組んでいるというメッセージも重要である。また、復興ウォッチャー調査の回答を見ると、主要魚種の不漁、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止に関して沿岸地域の住民からの関心が高く、これらの課題への対策をしっかりと伝えていくことが必要と考える。

次ページに続きます

#### [中村委員]

- ・ 1月16日に発令された津波警報に対して、避難者が少なかったことに課題を感じている。過去には、地震の揺れが小さくても大きな津波が来た事例もあることから、**避難する人の割合を高めるきめ細かな取組が必要**と考えている。
- ・ 三陸沿岸道路が**全線開通**したが、整備されたものをしっかり活用する発想が大切だと考えている。**地域の魅力、特色を生かしなら、その土地ならではのものをいかに作り上げていくかが、**問われており、**県のサポートを期待**している。

#### [谷藤委員]

- ・ 被災地の**人口動向を注視**しながら取組を進めることが重要である。特に小売・サービス業は人口規模によって売上が決まるため、人口動態は地域経済への影響が大きい。
- ・ また、**二重債務問題**について、今後、**更に注視していく必要がある**。震災から間もなく11年が経過することとなり、**債権の買戻しの時期が近づ**いており、事業者の状況に注意を払っていただきたい。

#### [平山委員]

- ・ 三陸の復興に関しては、**従来からの課題**に加え、**主要魚種の不漁**や**新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う新たな課題等**が発生しており、粘り強い取組が必要である。**地域において意欲をもって取組を進める人材が育つことが大切**なので、県においても支援を行ってほしい。

#### [南委員]

- ・ 情報化が進み、通信技術を生かした新たな産業が生まれるなど、**社会が急激に変化していく中で**、行政においては、**コミュニティのつながり**など残していくべき部分も含めて、**向かうべき方向を示していくことが必要**と考える。
- ・ 伝承に関しては、**次の災害への備えにつながるよう**に取り組んでいくことが必要と考える。

#### [齋藤委員長]

- ・ 復興推進プランに掲げた事業に関しては、**定量的な成果**が出ていると感じた。一方で、今後は、**数字に表れない地域の人々の状況を把握し、支援**をしていくことも大切である。
- ・ 内閣府が公表している**巨大地震への対策は、全て地元が行うこと**としているが、本来であれば、**国が予算と対策をセットで示すべき**であり、要望していく必要がある。

岩手県東日本大震災津波復興委員会 第30回総合企画専門委員会 出席者名簿

(敬称略・五十音順)

氏 名	職 名 等	出 欠
小野寺 徳 雄	株式会社昭和土木設計 技師長	出席(会場)
菅 野 信 弘	北里大学海洋生命科学部長 兼 三陸臨海教育研究センター長	リモート出席
齋 藤 徳 美	岩手大学 名誉教授	出席(会場)
高 嶋 裕 一	岩手県立大学総合政策学部長	リモート出席
谷 藤 邦 基	株式会社イーアールアイ 取締役(岩手県立大学地域政策研究センター客員教授)	出席(会場)
中 村 一 郎	三陸鉄道株式会社 代表取締役社長	リモート出席
平 山 健 一	岩手大学 名誉教授	出席(会場)
広 田 純 一	岩手大学 名誉教授	欠席
南 正 昭	岩手大学理工学部 教授	出席(会場)

出席(会場):5名  
 リモート出席:3名  
 欠席:1名